

9月PTA理事会（平成30年9月5日）

議題：卒業式の子どもの服装について

A:

自分の子どもは友達が袴を着ているから自分も着たいという気持ちである。親としては中学入学だけでもお金がかかるので、学校が禁止してくれたら正直ほっとする。

B:

自由に袴を着ることができるのは七五三と成人式ぐらいなので、自由になっている小学校の卒業式には袴を着させてあげたい。

C:

静岡に来て卒業式の服装が自由なのには驚いた。他県から来たが中学校の制服を着て卒業式に参加している。

D:

年々、子どもの髪形や化粧、アクセサリなどが派手になっている。

E:

揃えることができる家庭とそうでない家庭があって、そうでない家庭の子どもは卒業式の記念写真や入場の時に切ない気持ちになる。

F:

日本の正式な服装は和服である。自分も親として和服を着ていく。日本の伝統を大事にしたいので子どもにも和服を着させたい。